

## 自然環境の使者 ハッチョウトンボ

夏を迎えた陶史の森に、ハッチョウトンボが姿を現しました。ハッチョウトンボは日本で一番小さなトンボで、世界的にも最小の部類に入ります。雄(写真上)の体長は2cm程度で、雌(写真下)は1.8cm程度です。1円玉の直径がちょうど2cmですから、その小ささがお分かりいただけるでしょう。名前の由来は、漢字で書くと「八丁」とあるように、江戸時代に尾張の国(現在の名古屋市付近)の学者が「矢田鉄砲場八丁目」で発見したからという説もあります。雄は成虫になると鮮やかな赤色に染まるため、体は小さいものの簡単に見つけることができます。一方、雌の体は茶褐色に黒や黄色の横縞模様という地味な色合いです。生息地である湿地に溶け込み、目をこらしてみないと見つけれません。

さて、環境省は良好な自然環境の指標となる昆虫10種類を指定し、5年ごとに環境調査を行っています。ハッチョウトンボもその昆虫のひとつです。この小さなトンボが暮らす環境を、私たちは残し伝えていかなければなりません。



森	の
日	記

## ミツバチ教室

6月17日(日)

毎年大人気の「ミツバチ教室」。今年は100人以上の参加者がありました。子どもたちは、東濃西部養蜂組合長の小木曾さんからミツバチの生態などの説明を聞いた後、遠心分離器を使った蜜搾りを体験。



搾りたての蜂蜜を食パンに付けて食べると「ほっぺが落ちそう!」「あま〜い!」と歓声を上げながらほおぼっていました。

## かわいい子羊が仲間入り

6月26日(火)

陶史の森に新しい仲間が増えました。ちょっと小柄な雄(H24.4.10生まれ)と一回り大きい雌(H24.3.25生まれ)の2匹の子羊です。前からいるメリー、ショーン、メイともすぐに仲良くなり、元気に羊牧場で遊んでいます。



## 教室のご案内

## 8月

## ●昆虫教室(要申込・定員20人)

8月5日(日)9:00~11:30

昆虫の採集・観察と標本作り

## ●川の生き物教室(要申込・定員20人)

8月12日(日)9:00~11:30

川の生き物の観察と飼育のアドバイス

## ●バードウォッチング(自由参加)

8月26日(日)9:00~11:30

夏の野鳥を観察(雨天中止)

## 9月

## ●草木染め教室(要申込・定員20人)

9月9日(日)9:00~11:30

草や木の色素で白い布を染色

## ●バードウォッチング(自由参加)

9月23日(日)9:00~11:30

初秋の野鳥を観察(雨天中止)

## — イベント情報 —

陶史の森まつり 9月8日(土)